

意見一覧及び対応方針

回数	受付日	意見者	意見要旨	対応方針	
1	平成29年 第7回	11月30日	井出 勲	P4の15行目高齢化率及び18行目生産年齢人口割合の数が、市が公開している数と合わないのはなぜか。 また、15行目の「そのうち後期高齢化率は・・・」との表現では、前段の高齢化率における後期高齢者が占める割合との印象を与えるので、文言を再考してはいかがか。	高齢化率及び生産年齢人口割合については、外国人数を含めていなかったため、修正しました。 「そのうち後期高齢化率は・・・」については、御指摘のとおり高齢化率のうちの後期高齢化率と読まれかねないため、⇒「また、75歳以上の後期高齢者の割合は・・・」に修正しました。
2				P16の一覧において、人口、高齢化率等の数が、市が公開している数（HP市民部市民課）と合わないのはなぜか。	11月14日時点の素案では、堀之内圏域における人口を2重に計上してしまっており、また時点も平成29年6月末時点であったため、人口及び高齢化率、時点を修正しました。
3				P5 4行目「介護サービスの利用者や給付費は増加し、」という表現について、「給付費の増加」は文末の「社会保障制度の中核として確実に定着してきました。」という文章の趣旨に繋がらないと思う。 「確実に定着してきた一方で、給付費は増加しています。」などの表現にしたほうが良いのではないか？	給付費の増加も介護保険制度の規模を示すひとつの指標であるため、 「介護サービスの利用者や給付費の増加に合わせ、介護サービス事業者の数や質も充実するなど、介護保険制度は我が国の社会保障制度の中核として確実に定着してきました。」としました。
4				P5 10行目「～その有する能力に応じた～」という表現は、お金のない人はそれなりの生活をなさいななどの誤解を生じるのでは？	「その有する能力に応じた～」⇒「自立した～」に変更しました（国の基本指針を参考とした）。
5				P15 3行目12,515名とあるが、単位は「人」にしたほうが良いのでは？	「人」に修正しました。
6				P15の図表2-3では、27年度のふれあい・いきいきサロン数が113となっている一方で、P39の図表2-42の27年度の地域交流サロンの支援数が108団体と異なった数値になっている。	図表2-42の方は一般介護予防サロンを含んでいなかったため、113に修正しました。

	回数	受付日	意見者	意見要旨	対応方針
	7			P45、介護保険制度などの社会保険制度による「共助」とあるが、図表3-2では「社会保障制度」となっている。社会保障制度の方が適切では？	社会保険制度は社会保障制度の中の一部であり、ここではより限定した表現が適切と考えます。
	8			P46 下から4行目「～高めること取組み～」という表現は誤植？	修正しました。
	9			P56 「4 生活支援コーディネーターの配置」「～担い手となる人材などの地域支援を～」あるが、地域資源ではないか？	「地域支援」を示す意図であったため、文章を修正しました。
	10			P57 ②介護予防に関する意識の向上・施策の推進【重点】 3行目「健康寿命の延伸に向けた認知機能低下～」という表現はおかしいのでは？	文章全体を見直し、修正しました。
	11			P68施策No.40「認知症の早期発見・早期対応」において、早期発見の具体的な仕組みとして、後期高齢者健康診査など既にあるものの中に、認知症の簡易テストなどを追加することは出来ないか。	認知症チェックは、従来実施していた健康診断時の簡易テストを廃止し、二次予防事業のアンケート、また現状では総合事業の基本チェックリストへの変遷があることから、再度健康診断時の検査項目に追加する予定はありません。認知症ケアパスの「自分でできる認知症の気づきチェックリスト」や「基本チェックリスト」の活用により、認知症の早期発見・早期診断につながるよう、普及・啓発に努めていきます。
	12			P74 ⑤高齢者の安全・安心を守る 8行目「関係機関と連携して～」と事業名や制度名が列挙されているが、市民に分かりやすい表現に変更したほうが良いのではないかと？	「関係機関と連携して、各種相談事業の充実や介護サービス相談支援事業、成年後見制度などの活用により、高齢者の安全・安心を守ります。」に修正しました。
	13			P74 ⑤高齢者の安全・安心を守る 58 成年後見制度の適切な活用の推進の表部分に、地域福祉権利擁護契約件数が表示されているが、項目からすれば「成年後見制度の相談件数」を載せた方が良いのではないかと？	御指摘のとおり、成年後見制度の相談件数の方がより適切であるため、修正しました。